

小布施町立図書館意見・要望項目

大項目	中項目	小項目	要望や意見等（◆住民からの意見、◇あり方検討会での集約した意見、●図書館職員の要望）
【総論】	全体の理念	「交流と創造を楽しむ、文化の拠点」	<ul style="list-style-type: none"> ◆現状把握のために過去の傾向をデータ化してほしい。 ◆建設を進める段階で一度、町民にフィードバックする必要があると思う。 ◆本を読む人は電子図書等インターネットで図書の中身を見ることができるので、沢山の本を買う必要はない。 ◆町民は1万2千人と言いますが、来ない人は来ない。 ◆図書館を建設する経過や定義を皆に納得させる必要がある。 ◆如何に町民が新しい図書館を利用してくれるか、どういふ方法で皆を呼び込むかが大切。 ◆小布施らしさを強調しますが、そんな必要はなく、今の図書館を充実させた図書館で良い。 ◆いろいろな図書館を見て、特別な方々から見学者が来るような図書館は必要ないと感じる。 ◆今までも様々な施設が交流の場として造られているのに、図書館を新しくすることでおろそかにしてしまうのではないか。 ◆新しい図書館と他の施設の整合性を観点に検討してほしい。既存の施設の有効利用を考えてほしい。 ◆自由に行き場所を選べる時代に向かっている時に、無理に立派な図書館を町でつくる必要はないと思う。 ◆素晴らしい図書館を目玉に町に人が来てもらえる可能性もある。 ◆一つ一つの場を切り離して考えて、意見を言い合うというのは難しい。 ◆総花的な図書館を造ると、利用者はどんどん減ると思うので検討してほしい。 ◆総花的な方が良い。 ◆学校や家庭、さまざまな施設の役割は、それぞれ少しずつ違うので見直すことも大切。 ◇職員は、小さな町ならではの顔の見えるサービスの向上に努める。 ◇開館日や開館時間は利用者の利便性を考えて、可能なかぎり拡大・延長していく。
	期待したい役割・機能	1 学びの場 ・地域を支える情報拠点として、図書、インターネット等の多様な資料や情報を地域住民の皆さんに提供	<ul style="list-style-type: none"> ◇町民のニーズを十分に把握し適切な本の選定をする。 ◇寄贈図書や他の図書館との連携を活用する。 ◇利用者自身が簡単に蔵書等の検索ができるシステムを構築する。 ◆大人が利用しやすい図書館にする、情報センターにする、など決めて進めないと総花的になるので良くないと思う。 ◆これだけ情報をたくさん必要とする方達がいる中で、情報の拠点は必要な場だと思う。 ◆本は1冊1冊が高価になってきて、個人で幅の広い本を全て網羅するということは不可能になっているので図書館は必要。 ◆今、情報を受け取る能力、技術が人によって幅が出てきているので、情報を誰もが無料で簡単に知ることのできる場が身近に必要。 ◆家にコンピュータが無くても、図書館に行けばコンピュータで世界の情報にアクセスできるようにしてほしい。 ◆世界中の図書館から本を町の窓口まで取り寄せることが、図書館間の相互貸借という制度でできる。 ◆1万2千人の町だから隣の市に行けばいいということではない、1万2千人の町でも市や東京に住むのと同じように情報にアクセスできるという権利を与える場という図書館が必要。 ◆子どもが減少し大人が増えているので割り切って考え、例えば情報に重視するなど利用者の多い方向に進めたらどうか。 ◆北斎に関する本やまちづくりの本など、ここでしかないような目玉コーナーが必要。 ◆北斎館、高井鴻山館、おぶせミュージアム、歴史民俗資料館、フローラルガーデン等と連携し、電算化に伴い、図書の共有化をしてほしい。 ◆町内の施設の資料だけでなく、施設も連携してほしい。
		2 子育ての場 ・子どもと保護者がゆっくり向き合い、心ふれあう場を提供 ・小中学生の放課後の居場所や学習の場、本とのふれあいの場とし、安心して楽しく過ごせる環境を提供	<ul style="list-style-type: none"> ◆子ども教室（児童クラブ、一般教室）の機能の一部を児童図書コーナーで担ったらどうか。 ◆放課後、子どもたちを地域に戻すという部分で、子ども教室（一般教室）の拠点を図書館へ置いてほしい、検討してほしい。 ◆子どもの成長に合わせた場を提供できるような機能が、本や視聴覚を通じて図書館の中にあると良いと思う。 ◆学校では制限があると思うので、図書館で社会的な繋がりとか、経験、先人の考え方などを吸収する機会を得てほしい。 ◆子育ての場として図書館を検討するのは賛成できません。 ◆子育ての場とするなら、子ども図書館というようなものに名前を変えて、そういう趣旨で本や館長を置いたほうが良い。 ◆ある場をどういふ場にするかではなく、その場を活かして、どういふ子どもを育てるかを考えた方が良い。 ◆町民のひとつづくり、ひとつづくりが出来れば町づくりが出来るといふような、コンセプトをつくり、「どこの市町村よりも小布施の子は本を、一番読む」とか人間的に、とても素晴らしい人間をつくるという、目的を盛り込んでもらえると思う。 ◆子ども教室を入れてもらうのは本当にいいこと。異世代交流の場にもなるので賛成。 ◆子ども教室は沢山の登録があり、毎日沢山の子どもさん達が利用していると聞いてます。それを図書館の持つてくる事は反対。 ◆子どもが本を見て喚声を上げて良い、読み聞かせが遠慮なく出来る場所が、本に囲まれた空間の中にほしいと思う。 ◆何でも町の中心にごちゃごちゃと集める必要はない。 ◆子育ての場なら、エンゼルランドセンターと一緒にしたほうが良いのではないかな。 ●子育ての情報を集めて、どこで何をしているかわかれば便利。 ●小さな子どもが一人で館内から勝手に出ないような工夫が出来れば助かる。

小布施町立図書館意見・要望項目

大項目	中項目	小項目	要望や意見等（◆住民からの意見、◇あり方検討会での集約した意見、●図書館職員の要望）
		<p>3 交流の場 ・学び、子育て、情報を有機的に結びつけて、様々な世代との交流、経験豊かな皆さんの知識を伝承する場、くつろぎの場を提供 ・様々な出会いの場を作り、社会参加のきっかけとなる各種講座やグループ活動を支援</p>	<p>◇町民のさまざまな活動と連携し交流と生涯学習の場としての活用を図る。 ◆公民館の連携で、公民館で情報を収集して、それを図書館で集約してメッセージを出す活動があっても良い。 ◆みんなの拠り所が公民館から図書館になって、つながっていくのもすごく良い。 ◆目的を、図書館だから、公民館だからと情報が寸断されてしまうので、その中間が町の中にあれば良い。 ◆先ほども北斎館、北斎に関連する本の情報を融資的に結びつけると出ていましたが施設とも連携してほしい。そういうことをきちんと書いておいてほしい。</p>
		<p>4 情報発信の場 ・町の総合窓口として、町内の情報を住民に提供するとともに、観光で訪れた人々や全国にむけて町や住民から情報発信をするための拠点</p>	<p>◆多面的な情報発信基地になるような形にしてほしい。 ◆図書館の中に誰でも自由につかえるコンピュータを置き、指導すれば、幾らでも世界中の情報を見て学べるように考えてほしい。 ◆情報発信の仕組み、仕掛けを考える。 ◆小布施のここに行く时必须り情報があるとれるという目玉のコーナーがあったら面白い。 ◆情報発信では目玉の仕掛けを作って発信して、人を連れてくるようなものを皆で考えていけたら面白いと思う。 ◆情報のアクセスは新しいことを求めるので、快適な道具が置いたり、技術的にきちんとした人材をそろえたりする必要がある。ですから、図書館を作るときにそういう話し合いが必要。 ◆情報発信は、創造など時間を掛けて情報をつくることも必要で、単なる図書館の著書の関係だけの情報発信とか、町の行政の情報発信だけではなくて、小布施の文化や資産や歴史を外部の人に伝えるネタづくり仕込んでいく必要がある。そのためには時間や経費がかかりますので、その部分で専門部会みたいな形で、いろんな意見を集めて反映していくと、図書館の充実や強みになるのではと思う。発信の前に、良く受信し、理解して編集する場でありたい。 ◆小布施町内には様々な施設があり、そういうところにも、資料、美術書があると思うので将来結びつけるとは思いますが、その施設を書いておいて頂けると、見落としなくいろんな所を見ていただけたらと思う。</p>
	建設予定地の与件	<p>既存施設との位置関係</p>	<p>○町役場、公民館、北斎ホールの北側に隣接している。南側は町立栗が丘小学校のグラウンド、東側にはプールがある。 ◇現在の3階にある図書館は利用しにくいので、原則1階へ移動する。 ◆小学校グラウンドの南西隅に、かつて町出身者が寄贈した、木造洋風建築の音楽堂（かつての小学校音楽室）が移築され、今も使われている。</p>
		<p>来歴</p>	<p>○旧幼稚園舎を解体し、跡地に建設する。</p>
		<p>敷地面積</p>	<p>○敷地面積は1,800㎡。東側に30台分の駐車場があり、現在町外の職員、消防署員、公用トラック用となっている。 ◆敷地面積には、現在の駐車場は含まれていない。 ◆敷地が狭いので、近くに駐車場があると子どもには危険である。 ◆子どもが出入りすることを考え、周辺道路の交通状態も考慮してほしい。 ◆落ち着いて読書をするなどのためには、自動車の往来など周辺環境も考えてほしい。</p>
		<p>地形</p>	<p>○南側 グラウンドのレベル・北側 約1.5m段差で下がっている。 ◆正面玄関は南側のグラウンドレベルからの入り口を考えてほしい。 ◆北側の約1.5mの段差を工夫した提案がほしい。北側に職員と納入業者の出入口を設けると良いか。 ◆北側は日照が課題。雨が降ると湿り、冬は凍りつく。障害者用駐車場を北側に設け、出入口→エレベーターへつながる案があるが、冬など危険はないか。下屋を大きめに取ればよいか。 ◆正面玄関のある南側から北斎ホールの壁伝いに北側へ抜ける通路を作れないか。</p>
		<p>予算</p>	<p>◆全体で3億5千万円（解体・建設・備品・電算化）で考えていく。 ◆運営のランニングコストの問題等も含めて考えてほしい。エネルギー効率、内外の掃除のしやすさも大事な課題。 ◆全体ではなく、細かい予算も出来るだけ詰めて出していく必要がある。 ◆小布施町にある沢山の施設や団体との整合性を、十分調査研究して説明が必要。 ◆財政事情を考えると、メンテナンスの費用を最小限にして建物を何年も持たせたほうが良いと思う。</p>
【外部環境】	景観への配慮	<p>景観</p>	<p>◆景観に配慮してほしい。 ◆景観に配慮した建物にしてほしい。</p>

小布施町立図書館意見・要望項目

大項目	中項目	小項目	要望や意見等（◆住民からの意見、◇あり方検討会での集約した意見、●図書館職員の要望）
	環境への配慮	緑化	<ul style="list-style-type: none"> ◆環境問題（地球温暖化対策）に配慮して緑を残したり、植栽してほしい。 ◆今あるビワの木を残してほしい。 ◆グラウンドとの境は、小鳥などが来て季節を感じられるように実のなる木を植えてほしい。 ◆西日が強いので、西日を防ぐためにも大きい木がほしい。 ◆木を植えると音やグラウンドからの砂ぼこりも遮れると思う。 ◆植栽は、水くれや剪定、落ち葉など、管理のことも考慮したほうが良い。 ●植栽や緑の多い環境は賛成ですが、害虫駆除の消毒、草取りなどについても考えていく必要がある。 ◆芝生などの緑と、ベンチを設置してほしい。 ●ベンチを置ける軒下がほしい。
		日差し、木漏れ日、通風	<ul style="list-style-type: none"> ●自然光を取り入れたり、自然の風を取り入れる工夫をすることで、電気エネルギーを節約する。 ●外に近い環境で、簡単に小さな子どもが道路に出られない広場や木製のテラスがあると良い。
		太陽光発電など環境対策	<ul style="list-style-type: none"> ◆太陽光発電など建物に目に見える部分の環境対策を望む。 ◆環境問題に町として取り組む姿勢も考え、町の姿勢を示す装置や設備を備えてほしい。 ◆将来的にエネルギー問題を考えてほしい。
		小学校プール（東側）との関連（目隠し、騒音）	<ul style="list-style-type: none"> ●通気口から音が入ることもあるので、方向など細かい点についても配慮してほしい。
		北隣の住宅地、商店、工場との関連（目隠し、騒音、日照、通風）	<ul style="list-style-type: none"> ◆北側入口の暗い所は光が入る工夫をしてほしい。 ◆敷地北側には住宅、工場（木工、食品）がある。日照、通風、騒音、眺望など、館と周辺の相互への配慮を。
		敷地と建物の配置	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもたちがグラウンドで安心して遊べるような環境に、事務室の向きを工夫してほしい。 ●人の目が届く、安全性を考慮した配置にしてほしい。
建築面積	1, 000㎡（現在370㎡）	<ul style="list-style-type: none"> ◆限られたスペースの中で、どこを優先させるかを検討していく必要がある。 	
階層		<ul style="list-style-type: none"> ◆グラウンドのレベルで設計し、北下がりの段差1.5メートルを活用して2層にし、上部は図書館、下部は収納スペースや車庫にしたらどうか。 ◆段差を閉架式の書庫であるとか、調査研究ができる静かな場所のスペースも検討してほしい。 ◆表の面は子どもたちがいて賑やかでも、中には静かで研究や読書に集中できるスペースも検討してほしい。 	
地形（段差）の生かし方		<ul style="list-style-type: none"> ◆段差に滑り台があっても楽しいと思います。 ●緩やかにすべてスロープで繋ぎ、段差のない環境にしてほしい。 	
既存施設との関連	役場・公民館・北斎ホールとの連結	<ul style="list-style-type: none"> ◆北斎ホール、公民館との一体化利用を考えていく。 ◆既存施設との関連で、役場、公民館、北斎ホールと連結とあるので、直接役場から図書館までいけるようになれば素晴らしい。そしてその通路は展示コーナーとして利用したり、夏休み中図書館から溢れた子どもたちに学習室を開放できると良いと思う。 ◆予算の関係のありますが、1部2階ということも考えて、将来的には役場の方と中から、行き来できるようにすることも考えて設計してほしい。 	
	小学校校庭・野菜畑	<ul style="list-style-type: none"> ◆子ども教室で作っている、南側の畑を一部でも残してほしい。 ◆畑があり、そのすぐ近くに児童図書コーナーを設置すれば良いのでは。 ◆小学校が近く、事務所の設け方で子どもがグラウンドで安心して遊べるような環境を確保してほしい。 	
	駐車場の要否	<ul style="list-style-type: none"> ◆町役場の駐車場があるので、専用駐車場は設けなくても良いのではないかと。 ◆駐車場は車で来る人が多いので、ある程度確保してほしいと思います。 ◆障害者用駐車場の確保（3台位）および駐車場を数台設置したらどうか。 ◆あえて身障者用のスペースは設けず、周りの人が手助けをしたらどうか。 ◆ユニバーサルデザインというような、どんな障害の方でも、使えるような駐車場の考え方をしてほしい。 ◆足の悪い人は駐車場が近くにあることで安心するので、そういう人たちの意見を聞いて議論する必要がある。 ◆障害者はもちろん、納品業者の車も停められないと不便なので、北側の部分の駐車スペースを3台確保して、他の利用者は、基本的に役場の駐車場を使えば良いと思う。 ◆障害者用の駐車場は必要だと思います。それと、納品業者さんの駐車スペースも、必ず必要でなので、一般の人達が使える駐車スペースと別にあった方が良いでしょう。北側の木下ラジオ店脇の細い道が、納品業者専用に出れば良いが、道幅が狭いかもしれない。 	

小布施町立図書館意見・要望項目

大項目	中項目	小項目	要望や意見等（◆住民からの意見、◇あり方検討会での集約した意見、●図書館職員の要望）
	構造	入り口までのアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ◆寒冷地のため、北側の入り口では凍る危険など考えてほしい。 ●雪かきの労力が少ないつくりにしてほしい。
	素材		
<p>【内部環境】 （現在の数、面積などの現状把握 → 新築後の数、面積などを想定）</p>	バリアフリー		◆図書館は1階に設けて、バリアフリー、自動ドアにしてほしい。
	素材	構造	<ul style="list-style-type: none"> ◆構造は木造、RC、木造・RC併用などあるが、なるべく木造を望みます。 ◆信州産カラマツ材の大断面構造建築を考えてみてはどうか。 ◆構造的には、出来る限り木造でできないのですか。そういう指針で行けば温かみのある雰囲気になると思う。
		壁面	◆自然素材を使用してほしい。
		床面	<ul style="list-style-type: none"> ◆自然素材を使用してほしい。 ◆畳、ジュータン等は、ダニ、汚れ等が目立ち、管理が大変。 ◆入れ替えなどの管理費用も考慮する必要。 ◆「千年樹の里」（玄関で靴を脱いで、裸足で歩ける。冬は床暖房）のような床が好ましい。
		眺望	<ul style="list-style-type: none"> ◆絵を描くことができるスペースを設けてほしい。 ◆窓からの眺望に配慮して雁田山が見える等にしてほしい。
	蔵書エリア	開架書架、開架スペース	<p>◇蔵書・収蔵計画にみあった開架スペースと開架書庫を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆蔵書数については、調査・研究の本は県立図書館や全国の図書館と通じていて利用できる。そういう中では、何万冊も揃える必要は全然ないと思う。 ◆相互貸借には、人件費や送料がかかるので、本の購入コストと相対的にみて考えたほうが良い。 ◆年代別に読む本の垣根が非常に低くなり、お互いに接している部分が多くなってきているので、場所を分断して本を置くことは、情報の分断を生む。一つの町立の図書館というところに、ワンフロアの中にある程度の住み分けは必要でも、いろいろな資料がある、様々な情報があるということが大切。 ◆蔵書数を検討したらどうか。 ●古文書など町内の歴史資料の内容が、自由に見られる場にしてほしい。 ●大人と子ども、それぞれに合わせて図書が取り出しやすいような本棚を設置してほしい。 ●現在の図書館の状態では、地震などの災害時は非常に危険だと思う。 ●寄贈を受けやすい文庫本を有効に利用するため、20,000冊が置ける専用の棚がほしい。 ●本や資料に太陽光が、絶対当たらないようにしてほしい。
		開架書庫、格納スペース	<p>◇古文書など町内の歴史資料の散逸を防ぎ、保存する場所・機能を付加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆司書が多くの本の中から戦前の本を出してきて非常に重宝したことがある。古い本も大切に保管してほしい。 ◆開架図書数と開架図書数の割合を考えてほしい。 ●現図書館の開架面積は書庫約22㎡、郷土資料室約19㎡で計約41㎡で、丸林の倉庫にも床の上に積み上げられているが、小布施分校時代の移管図書など歴史ある資料のため廃棄してしまうのは、町の歴史を捨てるようでしのびない。 ●蔵書管理を効率よくおこなうために、十分な開架スペースを確保してほしい。 ●湿気の匂いのこもらない造りにしてほしい。

小布施町立図書館意見・要望項目

大項目	中項目	小項目	要望や意見等（◆住民からの意見、◇あり方検討会での集約した意見、●図書館職員の要望）
	玄関・エントランスホール	靴を脱ぐのか（フロア）	<ul style="list-style-type: none"> ◆「千年樹の里」のような靴を脱げるような床が良い。 ◆図書館の玄関は南側がやっぱり明るくて良いと思います。北側になると冬は凍るので危ないと思う。 ◆全館、靴を脱いで玄関に入り、床暖房にしていきたい。 ◆車椅子の方を考慮して、下足のまま入れる施設の方が良い。 ◆子どものコーナーのみ靴を脱ぐほうが良いのでは。 ◆雨、雪の日は床がぬれますが、対処はどのようなのでしょうか。また湿気などの本への影響も心配。 ◆車椅子を考えれば、下足のままが楽なのではと思います。 ◆千年樹の里のようなフローリングが良いが、畳のコーナーも設備がほしい。 ◆畳とかじゅうたんはダニもでるし、気分的には良いけれど畳替えなど管理も大変ではないかと思うので、図書館は靴で入れるようにしていただいたほうが良いと思う。 ◆畳に賛成です。小布施の中に、畳屋さんがあるみたいなので畳屋さんにワークショップとしてお願いすれば教育になるし、学びの場にしてしまえば良いのかなと思う。 ◆土足の場合のじゅうたんなど交換するコストやメンテナンスを考えたら、靴は脱いだほうが良いと思います。ただ車椅子の方のためには難しい問題です。両方の解決策があると良いのですが。車椅子の車の汚れを落とせる、タオルなどを備えた専用のスペースを設けてはどうでしょうか。 ●利用者の入り口はひとつが望ましい。 ●靴を脱ぐ場合、下駄箱のスペースが必要。
	障害者用駐車場からの玄関		<ul style="list-style-type: none"> ◆北側に障害者用というが、冬は凍るので危ない。雪除けの下屋などの配慮は欠かせない。 ●入り口近くにして移動距離や勾配を少なくするよう考慮してほしい。エレベータを活用してはどうか。
	ロビー		<ul style="list-style-type: none"> ●入りやすい、温かい雰囲気にしてほしい。 ●立ち寄り型の利用を中心に考える。駅や役場に近い、来訪者の多い小布施の特色を生かしたい。
	サービスカウンター		<ul style="list-style-type: none"> ●広いカウンターで、貸出と返却の場所は別々にしてほしい。 ◆作業スペースの確保をしてほしい。 ●予約・リクエストの本をカウンターですぐ渡せるように棚とブックトラック置き場が必要。 ●防犯や安全、管理のしやすさのために、なるべく死角がない設計や配置にしてほしい。
	事務室、応接室、休憩室、湯沸し室、更衣室（男女）、搬入口・荷受室、未整理資料室		<ul style="list-style-type: none"> ●飲食のにおいが館内に出ない工夫がほしい。 ◆急患に対応にも使える、横になれる場所が必要。
	閲覧コーナー	児童・青少年	<ul style="list-style-type: none"> ◆閲覧機は集中型が良いのか分散型設置がよいのか。今後、図書館の専門家や設計者の意見も聞いて決めていきたい。 ●手の届く高さの書架。
		成人	◆閲覧機は集中型が良いのか分散型設置がよいのか。
		新聞	●広げて読むためにスペースが必要。
		雑誌	●1年分の保管が近くで出来ると良い。
	読書コーナー		◆児童図書は大人もよく利用している現状を配慮した配置にしてほしい。
	学習コーナー	机は足りているのか。どの位が理想か。また利用時間帯	<ul style="list-style-type: none"> ◇静かな環境で集中して学習・調査できる空間を確保する。 ◆受験生のための、専用の学習室は必要ないと思う。 ◆インターネット利用と持ち込みのパソコンを利用できるスペースを確保してほしい。 ◆円形のテーブル等を利用してワークショップができるスペースを確保してほしい。 ◆デジタルとアナログの共有スペースがあると良い。 ◆マックなど種類の違うパソコンソフトの採用もしてほしい。 ◆学習機は夏休みは足りなくなる。図書閲覧用機は学生の勉強用にも使われている。 ◆ワンフロアで隔離した学習室を設けない工夫をする。 ◆学習機と閲覧機のすみ分けをどうするか。

小布施町立図書館意見・要望項目

大項目	中項目	小項目	要望や意見等（◆住民からの意見、◇あり方検討会での集約した意見、●図書館職員の要望）
	映像コーナー		<ul style="list-style-type: none"> ◆映画は広い所で大勢で観るように作られているので、大きなモニターで見てほしい。 ◆ビデオは少数ではなく、大きな画面で時間を決めて観るような施設がほしい。 ◆子どもたちはビデオを笑ったり、話しながら観るので、静かな空間とは離してほしい。 ◆子どもたちは、図書館に来て本ではなくてビデオを長い時間みていて困るという話も学校でありました。ビデオを置いてはいけないというのではないのですが、見放題は親として困るので、ある程度、時間制限など規制を加えて欲しい。 ◆図書館で観るビデオですが、ビデオを創るほうは夢を表現しているつもりなので、図書館は映像から夢や語りかけに出会う場所であってほしい、良いのではないかなと思う。 ●大人が資料を見るためにも個人用の映像コーナーもあればよい。
	子どもコーナー		<ul style="list-style-type: none"> ◇子どもの感受性を高め、想像する力を養う場として、おはなしの部屋などを設ける。 ◆子どもがごろごろできるようなスペースが必要だと思います。 ◆おむつ替えコーナーを設置してほしい。 ◆子育て・交流の場で子ども教室を拠点にするか議論してほしい。 ◆静と動のすみわけは必要であるが、子どもの声が多少聞こえてきてもよいと思う。 ◆大人が子どもと一緒に児童図書を読んだり、話をしてくれるコーナーは次世代育成に大切な場だと思う。 ◆図書館に子ども教室の拠点を入れることは賛成。 ◆月に1回、おはなしの会をおこなっていますが、何よりも今の図書館の中には、おはなしの会をする場所がない。図書館の中に、そういう部屋が是非欲しいというのが願い。 ◆お子さんと図書館に涼みに来るのは、繰り返すことで会話や利用が生まれると思うので良いと思う。 ◆図書館なので、子ども教室が入った場合の子どもの声ですが、設計の部分で上手く遮断なりできるのではないかなと思う。 ◆子育ての場として児童図書コーナーの近くに、おはなしの会をできるスペースがあると、おはなしを聞きながら小さい子どもさんとの交流ができる。特別なことをしなくても異世代交流というものが十分出来る場だと思う。 ◆子どもが自分で本を片付けたくなる、靴を整理したくなる仕掛けがあればマナーを自然に学ぶ場になるのではないかな。 ◆小さなお子さんのことを考えると、土足の所でハイハイしたり、寝たり、座ったりというのが汚いので、子どものコーナーを区切り靴を脱ぐようにすればと思います。 ◆反響音に考慮した子どもスペースの設置をしてほしい。
	情報コーナー		<ul style="list-style-type: none"> ◆高齢化の進む中、自治会や公民館と連携した身近な場所にしてほしい。今まで図書館に縁のなかった人たちも集まれる場所にしてほしい。 ◆誰でも情報が手に入る場所になれば、世の中を生きていけるチャンスが増えると思います。 ◆図書館でインターネットが使えて、世界中の情報にアクセスできれば良い。 ◆小布施の文化や歴史などを外部の人に伝えるための情報を作り出す場にしてほしい。
	交流・カフェテリア 屋内・テラス		<ul style="list-style-type: none"> ◇世代を超えたすべての人たちが交流できる新たな機能を付加する。 ◆静かな環境と活発な環境など静と動のすみわけに対応してほしい。 ◆セパレート（自由に組み合わせ使えるタイプ）の多目的に利用できる開放的な空間がほしい。 ◆子どもは、なかなか静かに絵本を読んでもくれないので、そういう時に声が響かない造りの、静かに本をみたい、資料を使ってレポートや論文を書いている方とのゾーニング、住み分けができることが非常に大切。 ◆一昔前のように学習室をきちんと壁で区切って、受験勉強のための静かだし、冷暖房はきくという、環境を作る必要はないと思う。資料を見ながら論文を作る人、パソコンで、インターネットの情報にアクセスし文字資料を確認しながらレポートを作る人という姿を、図書館に絵本を見に来た小学生が見ることでスゴイとおもうその驚きが必要だと思うので、そういう中身づくりを是非していただきたいと思う。 ◆すべての年代層の人が来て、様々な情報にアクセスできる、いろんな情報を揃えた場であって欲しい。 ◆重点的にする部分を煮詰める必要がありますが、ハードについては将来想定されるべきことは、きちんと考えておく必要があると思う。 ◆交流・カフェテリア、屋内・テラス、会議室、映像も含めて、多目的のルームのようなもので、順番にできるところから進めて、ひとつひとつ充実してくれば、この80～90%は消化できるとおもうので、そのところは設計者も十分に考えていただきたい。

小布施町立図書館意見・要望項目

大項目	中項目	小項目	要望や意見等（◆住民からの意見、◇あり方検討会での集約した意見、●図書館職員の要望）
	ソファ、畳の部屋		◆畳のスペースはほしい。 ◆畳は湿気が心配。
	朗読室	高齢者、聴覚障害者、視聴覚障害者	●閉鎖的でない、館内から見えて音だけ遮断される閉塞感のない対面朗読室に、音声・拡大読書機を設置してほしい
	会議室		◇多目的に利用できる会議室等を確保する。 ●会議室、展示室、軽い運動に使える30人～40人が使える多目的の部屋を1つ。 ●大きめの窓で、中での活動がみえる。カーテンで視界をさえぎることが出来て、外から鍵が掛けられるようにしてほしい。
	トイレ	男女	◆親と一緒に入れるトイレの設置（多目的トイレ）をしてほしい。 ◆障害者用トイレの設置。 ◆和式のトイレはいらない。 ◆ウォシュレット、ウォームトイレにしてほしい。 ●トイレは洋式に。 ●男女のトイレの入り口は離してほしい。出入りの時にお互い顔を見合わせるようなつくりだと使いづらい。
	階段		
	エレベーター		◆障害者用駐車場との連携を考慮してほしい。
	廊下		◆車椅子や本を運ぶ移動ラックなどとのすれ違いに危険でない広さに。
	収納スペース		
	既存の防災設備の取り込み		◆現在の防災倉庫（現状は、車3台、除雪機2台ほか、水道器具類、災害用器具類を保管している）の役割を果たせるだけのスペースを設けてほしい。
	機械室、ポンプ室		
【運営】	職員体制	館長	◆館長は全国公募ですか。地元に適任者がいるなら、地元から推薦できませんか。 ◆時間がゆつくりとれるなら、こういう場に館長になる予定の人が入って私たちの希望とかを酌んでもらいたいで検討をお願いしたい。 ◆図書館長を外部から募集というが、役場全体としては、人員を削減するという方向で動いているのに、基本的に経済の問題は大丈夫なのか。図書館だけ人員を増やし、館長を作り、内容を充実するのは結構だが、全体での関係はどんなふうに考えているのかわかりたい。 ◆館長は、町内限定でも、全国区から募集するのも、全体の理念を実現してくれる方というのを、具体的にしていきたいと思う。
		司書	◆図書館の機能の充実ということでは、司書の関係とか人の配置、人のことが一番心配です。
		職員	◆理念をもって図書館運営を行う職員の配置と、町役場全体の職員との整合性をとってもらいたい。（適材・適所） ◆ボランティアの可能性（コンシェルジュ）
		ボランティア	◆ボランティアの集め方を具体的に考えていけばどうか。 ◆現在は、母親文庫、おはなしの会、図書館サポート・おぶせの3つの支援団体が活動している。 ◆建物の解体と、引越しボランティアを募るのはどうか。お祭りみたいになれば楽しいと思う。 ◆図書の電算化にのり入力ボランティアを募り、町の人の手で進めたらどうか。 ◆豊職人等各種ワークショップのボランティアを募れば良いと思う。 ◆ボランティアの中心になれる人を会議の中に入れなかったら、ボランティアの拠点になるということも実現できないのではないか。 ◆解体するにもかなり金がかかる、何をやるにも金がかかるので、そういうところから協働していけば、かなり図書館への想いが広がるのではないかと 思う。 ◆平成20年春に旧幼稚園を解体する前に、トイレや床などを徹底して掃除する会を開き、町民みんな（有志）で感謝の気持ちを表したい。その催しを、建設工事の幕開けにしたい。